

夕刊 三月二日 行發日二月三

廿日鼠の寝言三

鈴木玲光

輸入超過の恨み 陰鬱な春雨がシトシト降...

新歌壇

小山田 滋選

心なめてなすこともなく獨り居り、休みしこ...

石雞句會

(五) 於秀山庵

カチカチの崖の崩れや芽獨活掘る...

爪をかむ女

グイニア・デルマー作 堤光泰譯

彼は何も言はなかつた。 彼は何もう言はなかつた。

拈華微笑

各種各様感概無...

かい。理想會な 各種各様感概無...

お蘭陀お蝶

渡邊 歌作

折しも城山より打出す鐘の...

社會の今日

親も子も同じ飲手や桃...

親も子も同じ飲手や桃の酒...



刀の方を貰うせ、手前は手...

「あつうか、憎い野郎だ！ 一本の蠟燭へ懐中附木の...

内臓外科 泌尿器科 木村病院

紅茶代用品 即席志るこ現出

生徒募集 磐城佑賢學舎

私立磐城青年學校

阿部材木店

長品廉賣に勝る 釜屋商店

金銀高價買入 金光堂時計店

新製品發賣!!!

陽明 院醫科村松

貸切御用命

旭屋一六銀行

警中苦學生小野四郎氏

故あるかなの大尉昇進

警中二十七回卒業生渡邊力
海軍軍主計少尉候補生(泉
村出身)は過般來練習艦隊
八雲に乗組み上海陸隊本
部を訪問した際警中二十三
回卒業小名濱出身小野四郎
海軍大尉の美談を報じた軍
中美談集を得此程母校へ送
つて来たが之によると小野
氏の大尉昇進故あるかなと
感かざるものがある

新奏任折笠二校長

昨日付發表さる

公立小學校長の在職中成績
優秀なる者に對し行はるる
委任待遇につき文部省は今
回本年第一次即ち第三回の
叙任をなすこととなりかね
て地方長官の申請に基き誰
衛中のところ昨日一日發令
本縣からは十六氏がその榮
を得たが四十四名に加之へ
合計六十名となつたが今回
の關係は左記二氏である
勿來高等校長
(七等) 折笠鬼子太郎
(略歴) 本縣入道野村入道
野、明治十五年十二月六
日生、廿六年七月縣師範
學校簡易科卒業、同月雙
葉郡師範訓練、廿八年三
月新山、同月長塚、同年
八月田村郡師範、四十三
年四月入道野、同年十月
兼入道野村立農業補習
大正八年九月澤渡小學校
立農業補習學校校長、昭和
二年三月山田校長兼山田
農業補習校長、五年三月
勿來校長、同年四月兼勿
來農業專修校長、六年一
月動八等に叙せられ瑞寶
章を授けらる、訓導十六
年一月半校長、十三年六
ヶ月

警中人國記

赤井嶽男記

第七回生の巻 N
○廿六年前の其日
第一回。警軍攻撃
を始めた
れど敵の
投手深田は早稲田の河野
と肩を並ぶ程の男將に
て其の魔球は大に警軍を
悩ませ、第一に警軍の
魔球松崎、バットを取
り上げ振れども振れども
球は敵捕手の掌中に收め
られ遂に三度振りに斃れ



赤井嶽男

湯野小學校長、十二年
兼湯野農業補習校長、十
五年三月安積郡富久山行
健校長、同七月兼富久山
農業補習校長、昭和五年
三月四倉校長、同四月兼
四倉水産補習校長、訓導
九年六月半、校長十三
年
○訓導廿三年十一月月半
教育に精勵す

去月中の増差七千噸

送炭量依然好調を辿る

東鐵最近の調査統計

去月二十一日以降二十八日迄の常磐炭山元發送高は
營業用二、五九九噸 三三、〇八四噸 省用一、二三四噸 一七、九二八
噸 合計三、八三三噸 五一、〇二二噸
で前年同期に比し營業用五五四噸省用八八噸合計六四二噸の増で同月中を通
算すると營業用一〇、二六七噸の増に對し省用一、三五六噸を減じ差引六、
九一一噸一日平均二百四十七噸の増加を示してゐる

平商廿周年記念

大講演會運動競技

日本名産、九日四倉、十
日湯本、十一日平
日湯本、十一日平

平豫算本會

村税を搔ぎ集めて

某山村教員の窮狀

醬油七萬圓

平町の生産調査

農耕馬には

手加減を

農耕馬組合の希望

酒造税完納

當局届届を聞く

十分間に十一問弱

神谷の繩綱競技會記録

四倉町豫算

漁港附金の爲

吉田政久翁

昨日一日長逝

密獄監視

平野では去
月限り禁獄となつた、山
鳥及一般密獄取締のため今
日午前七時から管内山林
の巡邏を行つた

罰金に不服

密漁者裁判を仰ぐ

父政久儀

永々病氣之處養生

不相叶三月一日午後五時途三逝去
致候間此致御通知申上候
源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀可仕候
昭和八年三月二日

吉田鎮政

男 吉田鎮政

男 清廣政
男 清水為政

父政久儀

永々病氣之處養生

不相叶三月一日午後五時途三逝去
致候間此致御通知申上候
源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀可仕候
昭和八年三月二日

密獄監視

平野では去
月限り禁獄となつた、山
鳥及一般密獄取締のため今
日午前七時から管内山林
の巡邏を行つた

罰金に不服

密漁者裁判を仰ぐ

父政久儀

永々病氣之處養生

不相叶三月一日午後五時途三逝去
致候間此致御通知申上候
源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀可仕候
昭和八年三月二日

吉田鎮政

男 吉田鎮政

男 清廣政
男 清水為政

父政久儀

永々病氣之處養生

不相叶三月一日午後五時途三逝去
致候間此致御通知申上候
源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀可仕候
昭和八年三月二日

密獄監視

平野では去
月限り禁獄となつた、山
鳥及一般密獄取締のため今
日午前七時から管内山林
の巡邏を行つた

罰金に不服

密漁者裁判を仰ぐ

父政久儀

永々病氣之處養生

不相叶三月一日午後五時途三逝去
致候間此致御通知申上候
源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀可仕候
昭和八年三月二日

吉田鎮政

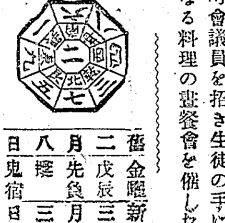
男 吉田鎮政

男 清廣政
男 清水為政

父政久儀

永々病氣之處養生

不相叶三月一日午後五時途三逝去
致候間此致御通知申上候
源寺ニ於テ佛式ニ依リ葬儀可仕候
昭和八年三月二日



新 城 警